

- 1 あといふこゑがふるへて春の底に〇(まる)
- 2 いつせいに果実は腐る午後三時
- 3 じきに死ぬくらげをどりながら上陸
- 4 椅子攀(よ)ぢり北窓開けて「おはよう」と言へ
- 5 虹映る刃物振り振り飯の支度
- 6 沈めても沈めても微笑むなすび
- 7 向日葵が怒鳴りつゞけてゐる虚空
- 8 真空に糸瓜一本浮遊せり
- 9 幻聴も夢も現実の光よ
- 10 ゆつくりと陽炎になる老婆かな
- 11 金魚のいのちまあるく溶ける和紙のうへ
- 12 早亀(ひでりがめ)明るく水を奪ふこと
- 13 炎天下処女の倒立すぐかわく
- 14 手も足もどこかへ捨てゝ生き延びやう
- 15 話すでもなく裸になるでもなく
- 16 菜の花化して蝶となろうが俺は俺だ
- 17 北極を指し冬靴の影伸びる
- 18 落ちてこそ雷死んでこそ人間
- 19 啓蟄の胎児はうたう雲のうた
- 20 惑星の軌道をねじ曲げる西日
- 21 結果より過程と滝に言へるのか
- 22 一滴一罪百滴百罪雨ハ蛙ヲ百叩キ
- 23 中央に一本化しません物芽
- 25 怒りの矛先よせつけぬ高層ビルめ
- 26 わたしが歩けば必ず歪む冬の道
- 27 うろこ雲億万個ぶつ散らかした恋
- 28 あなたの手が昆布のように昆布のように
- 29 頬は腕を腕は足を足は頬を
- 30 混沌混。沌混沌。その先で待つ。
- 31 ほらこれが人間の町だよ月よ
- 32 せいぜい着飾ることだ誰も見てをらん
- 33 排泄をしようぜ冬の曇天下
- 34 滝のごとゲロを吐く月を背にして
- 35 冬廊下かがやきながら卒倒す
- 36 明白な美学アスファルトに鶏頭
- 37 虫の闇宇宙に鼓膜たゞ二つ
- 38 冬座敷誰もゐなくて宙返り
- 39 汝(な)の罪を隣に託びよ冬木立
- 40 人人人人人人銀杏散る
- 41 共生と対話の装置炬燵赤赤(こたつあかあか)
- 42 結局なんもでけへんかつたぽんかん抱く
- 43 現状は過酷であるが維持せよ凧
- 44 歳末共同募金拒否権ある無傘
- 45 湯ざめした体で外国(よそ)の惨事読む
- 46 季語が無い夜空を埋める雲だった
- 47 葉裏より蠶螂さかしまに威嚇
- 48 枯芝の批判的精神を踏む
- 49 草木(そうもく)も眠る三時に蟬生(あ)れる
- 50 まちがへて綿虫になる空気かな

- 51 袋小路這い上り風船は消ゆ
- 52 万年青(おもと)青青(あお)男女の違ひとは何か
- 53 星星(ほしほし)のあひだあひだのしじまこそ
- 54 冬磧(ふゆがわら)坊主一人(いちにん)涙をかむ
- 55 午前二時ベランダにぶらさがる縄
- 56 星沈む飴湯とともに菓飲む
- 57 手に負へぬ隙間のかたち冬の枝
- 58 冬の鶉を見逃し空愈(いよいよ)広し
- 59 蓮枯れてなほ水面を支配せり
- 60 ときにあなた幾つになつたの万愚節
- 61 月経の血は流れ紅葉かつ散る
- 62 暗ヒ暗ヒ水羊糞テロリテロリ
- 63 颱風の問ひに窓開けて答へる
- 64 颱風曰く「困つた時がチャンスです」
- 65 鳥籠と鳥の関係北窓塞ぐ
- 66 階段をふみはづしたところに花が
- 67 あなたがゐる二畳のホットカーペット
- 68 机を蹴る机を叩く私は蚊ぢやない
- 69 思いやる気持ちは無いわダチュラ咲く
- 70 こないだはごめんなさい春雷だつたの
- 71 セロリ噛むやうにさくさく忘れてやる
- 72 思ひ出せ思ひ出せ落ち葉かきわけ
- 73 歳時記は要らない目も手も無しで書け
- 74 瀬戸物の象が歩いてゐる冬麗
- 75 携帯を踏みつける足が欲しいよ
- 76 妥協まだ知らぬ子どもの春の即興(ダンス)
- 77 深入りはするなと言われても夏だ
- 78 引きずっても引きずっても終わらない鎖
- 79 天高く地面は低く石ぽかん
- 80 乳房ややさわられながら豆餅食う
- 81 片っ端から手足の折れる冬の虫
- 82 無職でもよいではないか亀が鳴く
- 83 秋雨をはじいてどまんなかを行く
- 84 万緑に解体されし家屋かな
- 85 二日月心を病んで尚綺麗
- 86 それは違うそれは墮落だ冬暖か
- 87 冬日和愛想笑いのうまいやつ
- 88 泣いても笑つてもスコールが赦す
- 89 夜のクレーン一台ぽつと桜降る
- 90 梅はまだ咲かない私はまだ泣かない
- 91 暇がとぐるをまいて黒光りしてゐる
- 92 この恋は成就しません色変えぬ松
- 93 手をつなぐ人がゐない夜の銀杏(いちじょう)
- 94 あと何度死ねばいいの去年今年
- 95 くしゃみしそこねた空間をまるめる
- 96 春の虫踏み踏みどこへ行こうかな
- 97 紫蘇ジュースがぶがぶ飲み泣くな泣くなよ
- 98 俗っぽい映画を観た。さて、枯野に行こう。
- 99 夏の終わりに終わりは無いあなたが好きだ
- 100 この腕を振り下ろす寸前の春

